

平成31年度 富山県の人材確保・人材育成について

富山県人材活躍推進センターの創設について

【概要】

現下の人手不足の解消や労働力人口の確保のため、労働局等と連携し、女性や障害のある学生支援の機能を強化するとともに、若者、女性、高齢者等の就業支援機関を集約し、ワンストップで人材確保を支援する実施機関として、とやま自遊館内に新たに創設。

【富山県人材活躍推進センター 組織図】

会長（知事） 副会長（総合政策局長）
（商工労働部長）

センター長（県次長級）

総合政策局次長（本務）
兼商工労働部次長

副センター長（労働政策課長、移住・UIJターン促進課長）

事務局長（県課長級）

総合政策局課長（本務）
兼商工労働部課長

企画管理部
部長：事務局長兼務

若者人材支援部
部長：事務局長兼務

多様人材活躍支援部
部長：センター長兼務

連携

富山くらし・しごと支援センター

- ・市町村と連携して移住の推進
- ・県内企業への学生・社会人のUIJターン推進

富山オフィス

- 富山オフィスは自遊館2階に移転し、人材活躍推進センターと一体的に運営
- ワンストップで移住・UIJターン者の相談
- 企業訪問し、社会人向け求人を開拓

東京大手町オフィス

東京有楽町オフィス

大阪オフィス

新
女性就業支援
センター
(マザーズジョブとやま)

シニア専門人材
バンク

※生涯現役促進
地域連携事業事務局
と連携し同事業を実施

- ・企業開拓・支援により女性が働きやすい職場構築
- ・民間のネットワークを活用し女性^の求職者開拓（子育て中のママ、移住・転勤女性等）
- ・SNS等での就職情報の提供、出前講座等

※地域活性化雇用創造プロジェクトの
人材確保・育成関係の事業も実施

プロフェッショナル
人材戦略本部

※自遊館2階に新世紀産業
機構から移転

インターンシップ推進
センター

若者就業支援センター
(ヤングジョブとやま)

○新卒障害者就業支援コーディネータを新規配置し、
障害を持つ学生の職場実習などをサポート

UIJターンと移住・定住の推進について

UIJターン就職推進の主な取り組み

「くらしたい国、富山」推進本部の設置（2007年）

県、市町村の窓口を通じた移住者数

2008年 2010年 2014年 2015年 2016年 2017年
207名 → 300名 → 411名 → 462名 → 565名 → 729名

2017年移住希望地ランキング ※NPO法人ふるさと回帰支援センター調

20代以下では全国4位、30代では全国7位！

新 全企業と対話キャリアフォーラム開催事業

新しいコンセプト(参加学生全員が参加企業全社と双方向で対話)のキャリアフォーラムを開催

新 女子学生キャリアフォーラム開催事業

女子学生と女子社員によるキャリアフォーラムを首都圏で開催

拡 大都市圏大学UIJターン就職パートナーシップ事業

大都市圏の就職支援協定締結校のOB・OG在籍企業を中心に訪問するバスツアーや、若手OB・OG社員との交流会等を実施

早稲田大学、中央大学、明治大学、
京都女子大学、立命館大学との連携

拡 就活女子応援カフェ開催事業

新たに金沢市内でも開催し、女性のUターン就職を促進(7回→9回)



就活女子応援カフェ



協定締結式

新 移住支援金交付事業

単身:60万円、世帯:100万円 交付

新 移住者創業チャレンジ応援事業

起業支援金:200万円 交付

拡 富山くらし・しごと支援センター運営事業

〔富山オフィスの体制強化〕

①1名増員〔SNSの強化〕②土曜日の営業③ワンストップサービスの充実

拡 移住・転職PR事業

東京に加え、新たに大阪でフェアを開催



とやま移住・転職フェア

【全国屈指のUターン就職率】

◎大学等卒業時における県外流出(推計)

2006.3卒 3,423人 ⇒ 2018.3卒 2,380人

◎大学卒業者のUターン就職率

2006.3卒 51.3% ⇒ 2018.3卒 58.2%



住みよさ

『富山は日本のスウェーデン』井手英策 著
 地元紙 (8/18(土)に要旨が掲載)

県外転出経験者のUターン率 全国2位 (55.3%)

Tターンとインターンシップの推進について

現状・課題

- H30の県内大学の入学者のうち、県外出身 1,644人(66.7%)、県内出身 820人(33.3%)と年々県外出身者が増加傾向であり、**県外出身者の県内定着(Tターン/Toyamaターン)の促進が重要**
- 県内大学における県外出身者の県内定着率については、**平成27年度の16.6%から平成29年度の17.9%と増加**しているが、さらなる定着率の向上に向けて、県・県内大学が連携し、**より一層の取組みが必要**

県の施策

新 Tターン推進強化事業

- ・学生のニーズを反映した企業訪問バスツアーの開催
- ・県外出身の県内学生を対象とした企業とのTターン座談会の開催
- ・県内中小企業向けの採用力向上ワークショップの開催



企業訪問バスツアー



Tターン座談会

拡 地域の多様なインターンシップ創出事業

- ・複数企業間のインターンシップなど先進的なインターンシップモデルの構築の支援
- ・富山県インターンシップ推進センターによるマッチング促進
- ・企業ニーズに対応したインターンシップ支援
- ・県外学生に対する県内の魅力的なインターンシップのPR

○県内大学生の県内就職率(県内4大学)

	県内出身者	県外出身者	全体
平成30年3月卒	85.8%	17.9%	45.6%
平成29年3月卒	81.3%	20.8%	45.8%
平成28年3月卒	82.4%	16.6%	44.1%

○近県からの県内大学への進学者数(平成30年4月)

石川県	福井県	長野県	岐阜県	愛知県	(参考)富山県
331名	96名	126名	139名	281名	820名

富山のしごと・くらしアピール事業

- ・富山の「しごと」「くらし」の魅力について、専用webサイトを軸に、特に県外出身の県内大学生向けに紹介

著名人(NGT48 中井りか)を活用した動画、ドキュメンタリー、企業PR動画



オアシスオムニバー
NGT48の中井りかさん(富山県出身)が、富山県内の魅力をPRする動画を撮影しました。富山県内の魅力をPRする動画を撮影しました。



ドキュメンタリー
富山県内の魅力を、県内大学で勉強した学生、その卒業生が語り継ぐドキュメンタリー動画を制作しました。



企業・店舗に誘える富山県企業
富山県内の魅力をPRする動画の中で、富山県内の企業・店舗を紹介する動画を制作しました。



父母向けパンフ

働き方改革・女性活躍の推進について

現状・課題

- ・正規雇用率(66.9%(全国3位))は高く、特に若者の正規雇用率(77.8%(全国1位))は高い。
 - ・女性の就業率(72.0%(全国3位))や平均勤続年数(10.8年(全国6位))は高いものの、ものづくりが中心の産業構造であることも影響し、民間企業における女性の登用(7.6%(全国44位))が十分進んでいない。
- ⇒働き方改革を推進し、男性の家事・育児参画、女性のキャリア形成など**女性が活躍できる職場環境づくりを推進する必要**

働き方改革の推進

(新)働き方改革・女性活躍応援サイトの開設

県内企業の取組状況、先進事例の紹介、支援情報等の一元的な発信等を行うWebサイトの構築

(新)イクボスネットワークの強化

「イクボスシンポジウム」の開催、新聞を活用したPRキャンペーン



H29.7.25設立
加盟数:143団体
(H31.2.21現在)

(新)中小企業の働き方改革サポート事業

業界や業種(宿泊業・介護等)ごとの研修会等への先進企業の派遣や合同コンサルティングの実施

○働き方改革県民運動の実施

働き方改革推進運動を実施し、運動に参加し高い実績をあげた企業を顕彰、メディアキャンペーンの展開



(拡)「健康経営」普及支援事業

女性活躍の推進

(新)女性未就業者等活躍促進事業

女性の就業に関する相談をワンストップで受け付ける「女性就業センター」を設置し、潜在的な女性求職者の開拓、子育て中のママ向けの仕事の切り出し、マッチング等を支援

(拡)一般事業主行動計画(女活法)の策定支援

社会保険労務士による企業訪問、企業向け策定研修会の開催

(拡)女性のキャリアデザイン応援事業

女性のライフイベントに応じたキャリア形成を支援(大学生向け(2回→3回)、若手女性社員向け(1回→2回)など)

(新)煌めく女性リーダー出前講座

県内の女子大学生等と県内企業の女性管理職等による交流会を実施

○チャレンジ支援事業(県民共生センター)

就職や起業など様々な分野へのチャレンジに関する総合相談窓口

(新)家族でハッピー！家事・育児分担キャンペーン

男性の積極的な家事・育児参画など、家庭内での家事分担を考えるキャンペーンを実施

○がんばる女性農業者の支援

高齢者の就労・就業促進について

とやまシニア専門人材バンク

専門的知識・技術等を有する高齢者の就業と県内企業の人材確保マッチングのため、ハローワーク富山と一体となって、平成24年10月に「とやまシニア専門人材バンク」を開設。平成31年度は、引き続き、富山県全域での出張相談などを通じてマッチングを強化。【自治体独自の取組みとしては全国初】

高岡HW、滑川HW、魚津HW、氷見HW、砺波・小矢部HW、富山HW、その他県内ショッピングセンター 等

○就職者数の推移



【ケース1】60代男性（Iターン）社会福祉法人
・企業への障害者雇用制度の普及啓発、求人情報の収集
評価された技能 長年培った営業経験



<採用担当者の声>

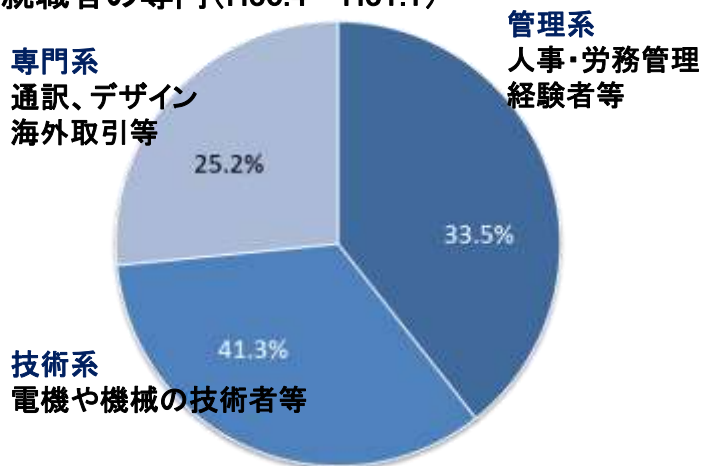
「短期間で企業の障害者雇用の実績を上げ、施設としても助けられています。」

富山県生涯現役促進地域連携事業(H29年度～)

シニア人材の就労を支援するため、主に65歳以上の高齢者を対象とやまシニア専門人材バンクと連携し、以下の取組みを実施

- ①地域団体等への訪問や各種イベント等を通じて、新規求職者の掘り起こしを行う。【イベントの例】 各種セミナー、働くシニアのための合同企業説明会、シニアインターンシップ、シニア座談会 等
- ②企業訪問を通じ、高齢者が担える業務の切り出し等を行う。

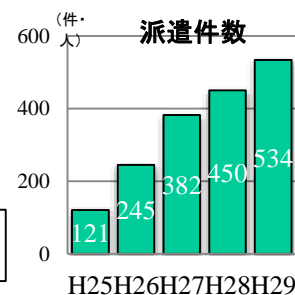
○就職者の専門(H30.4～H31.1)



シルバー人材センターと要件緩和

高齢者雇用安定法改正(H28.4施行)により、派遣事業等については、知事が指定した業種について、従来の週20時間以下の要件を緩和し、週40時間までの就業が可能

H30.10に要件緩和の知事指定。
県内全域で各種商品小売業、飲食料品小売業、その他の小売業 等



障害者の就労促進について

平成30年度より精神障害者が法定雇用率の算定基礎に加えられるとともに、障害者法定雇用率が引き上げられたところであり、今後、より一層の就労支援と職場定着を促進する取組みを行うことにより、企業の法定雇用率達成と、障害者一人ひとりの経済的自立や社会参加の実現を図る。

現状と課題

- ① 障害者雇用状況報告(平成29年6月1日現在)
実雇用率=1.97%(前年比+0.01ポイント:全国32位)、
雇用率達成企業割合=8.5%(前年比+1.0ポイント:全国22位)
※障害者雇用率(法定雇用率)の引上げ=2.0%から2.2%に引上げ(30年4月~)
※平成33年4月迄には2.3%に引上げ
- ② 就職件数 H29年度:1,109件(H28:1,159件、H27:1,149件、H26:1,090件)
解雇者数 H29年度:17人(H28:17人、H27:47人、H26:14人)
就職率(就職件数/新規就職申込み件数)67.5%:全国1位

重点的取組み

- 就労への移行支援
- 1 障害者就業・生活支援センター
県内4か所(全障害保健福祉圏域)に設置し、生活面と一体的に障害者の就業を支援(全圏域での設置は全国3番目)
<県内の指定状況>

区分	設置主体	設置場所	指定時期
富山圏域	(福)セーナー苑	(福)セーナー苑(富山)	H14.12
高岡圏域	(福)たかおか万業福祉会	(福)たかおか万業福祉会(高岡)	H16.9
新川圏域	(福)新川むつみ園	(福)新川むつみ園(入善)	H18.3
砺波圏域	(福)淡明会	障がい者サポートセンターきらり(砺波)	H20.3

- 2 障害者チャレンジトレーニング事業(H18~)
障害者就業・生活支援センターを通じて行う短期の職場実習について、実習の受入先事業所への謝金、障害者の傷害保険料や手当てとして奨励金を支給。
<事業実績>

区分	実習件数	就職件数	就職率(%)
H28	147	98	66.7
H29	162	107	66.0
H30(12月末)	142	97	68.3

平成31年度事業の取組み

(1)(新)障害のある学生のチャレンジトレーニング等事業

- ・ヤングジョブとやまにコーディネーターを新たに1名配置し、障害のある学生に対し新卒応援ハローワーク等関係機関と連携しながら、インターンシップ体験や短期の職場実習を実施し、就職を支援

(2)(拡)障害者の一般就労トータルサポート事業

- ・企業の経営者や担当者の障害者雇用への理解を深める取組みを進めるとともに、障害者の福祉的就労から一般就労への移行の促進や障害者の職場定着を促進する事業を実施

①(拡)企業の障害者雇用担当者への個別支援事業【H30:9社受付・実施中】

- ・障害者の就労促進、職場定着を図るため、企業担当者に対し、障害者の就労前から就労後までの一貫した個別支援により障害者雇用のノウハウの習得を図る
- ・事業内容:雇用実施計画書の作成支援、企業への訪問支援、障害者就業・生活支援センターとの連携補助

②(拡)障害のある新入社員等の方の研修会【H30.5.8~9 19名参加】

- ・新入社員を含む一般就労する障害のある方全てを対象に、社会のルールやビジネスマナーについてロールプレイによる研修実施により、個人の能力を引き出し、職場定着を図る。(約30名)

③(拡)障害者、家族等と企業との交流会の開催【H30.7.15 100名参加】

- ・福祉的就労の障害者や学生、生徒と家族・支援者を対象に一般就労について働きかけて一般就労につなげるため、企業担当者との就労に関する相談等を行う交流会を開催。

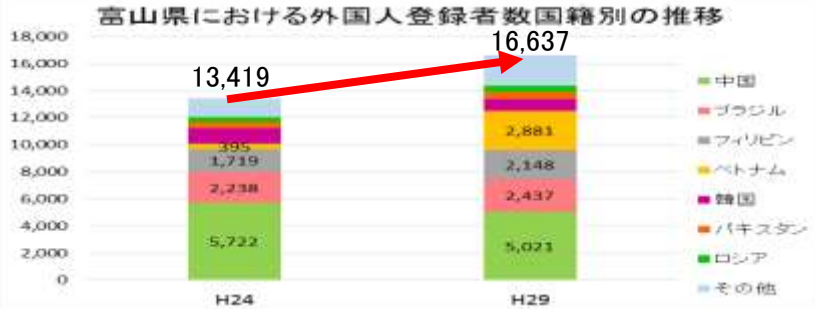
(3)(継)中小企業等障害者雇用推進事業【H30.8.5 36名参加】

- ・企業の経営者及び人事・労務担当者を対象に、障害者雇用の知識や理解の促進を図るための障害者雇用実務講座開催(年3回開催)

外国人材の活躍について

現状

- ・技能実習生は、H27の3,500人からH30の4,845人と**約4割増** 特に、ベトナム人が増加
- ・今後、受入れ企業への支援、多文化共生、日本語教育などの環境整備が必要



国の動き

(1) 新たな在留資格の創設

特定技能1号: 通算5年、家族帯同不可
 特定技能2号: 永住可、家族帯同可(建設・造船・船用工業)

- ・外国人材の受入れ拡大のため、**新たな在留資格を創設**
- ・**建設、農業、宿泊、造船・船用、介護、素形材産業、産業機械製造業、電気電子情報関連産業、自動車整備業、航空業、漁業、飲食料品製造業、外食業、ビルクリーニング業(14業種)**の人手不足業種<特定技能1号>
- ・技能実習生について**実習(最大5年)後**、新たな在留資格への移行も可能

(2) 地方における外国人材の活用等

12/8に出入国管理及び難民認定法の改正法案成立

- ・在外親日人材の掘り起こし、**地方公共団体のニーズとのマッチング**の構築
- ・外国人留学生等が就労する際の**中小企業の手続の簡素化**

県の施策

外国人留学生の県内企業へのマッチング支援

新 グローバル人材活躍事業

新 グローバル人材活躍推進企業養成プログラム

新 外国人留学生向け合同企業説明会in OSAKA

新 早稲田大学学内合同企業説明会への
 県内企業ブース出展

・外国人留学生向け合同企業説明会in TOKYO

拡 北陸3県・長野県における外国人留学生向け就職相談会・企業研究会

新 ものづくり総合見本市2019での外国人留学生向け就職セミナー・企業ツアー
 ・富山県内合同企業説明会・面接会の開催

新 アジア高度人材受入支援に向けた調査事業

アジアの大学等で学ぶ学生を県内企業に受け入れるスキームの構築に向けた調査等の実施

拡 アセアン地域等からの外国人留学生受入・定着促進事業

県内企業と連携し外国人留学生の就学から就職までを一体的に支援

第1期(H27)3カ国5名、第2期(H29)3カ国4名、第3期(H30)4カ国5名

<H30開催実績>

- ◆松本会場(信州大学松本キャンパス)
 参加企業 24社、参加者 30名
- ◆金沢会場(金沢大学角間キャンパス)
 参加企業 28社、参加者 90名

外国人技能実習生等向けの施策

拡 外国人技能実習生等活躍事業

・日本語習得サポート事業

監理団体等が技能実習生に対して実施する日本語講習に対する補助
 ・技能検定3級及び2級実技合格のための技能向上講習

新 先駆的空き家活用モデル支援事業

今後の空き家活用のモデルとなる先駆的な取組みを支援(移住者や外国人技能実習生など向けの賃貸住宅への改修等)

多文化共生に向けた施策

新 外国人ワンストップ相談センター設置事業

行政・生活全般の情報提供・相談を多言語で行う一元的相談窓口の整備・運営

新 ベトナム人国際交流員設置事業

県内在住のベトナム人支援や地域住民との調整等を担う国際交流員の配置

富山県外国人材活躍・多文化共生推進プラン(仮称)の策定に向けて、策定委員会を開催

1/31に第2回策定委員会(会長:朝日重剛(朝日印刷代表取締役会長、委員:15名)開催
 ・2019年の8~9月策定予定

人材育成について

公共職業訓練

技術専門学院

民間機関

学卒者

長期訓練(2年間) 自動車整備科、電子情報科、メカトロニクス科 (定員:各学年20人×3科)
 ○メカトロニクス科の拡充(H29～)→工場の自動化(FA化)に対応したカリキュラムを導入

就職率
100%



離職者

短期訓練(3ヶ月～1年間) 金属加工、環境IT設備、住宅リフォーム、木材加工、造園、介護など(定員:380人)
 ○高精度メタルワーク人材養成(H30～):レーザー切断や高精度溶接に対応したカリキュラムを導入



在職者

能力開発セミナー(12時間以上) 資格取得講座、グローバル人材育成、高度技能人材育成など
 ⇒レディメイド型(190人)とオーダーメイド型(985人)で企業ニーズに対応
 ◎ものづくり自動化支援人材能力開発事業:F A制御技術コース+レーザー加工技術コース



離職者

民間委託訓練 介護・保育・建設・観光・ITなど(定員:867人)
 ○長期高度人材育成コース:短大等の課程を活用し、資格取得による正社員就職を支援
 ○育児等との両立支援コース(1日4時間の短時間訓練)や訓練受講中の託児サービスなどを実施
 ○「IT活用力」修得を盛り込んだコースや建設などで企業実習等を取り入れた実践型コース設定を推進



ものづくり人材育成

技能継承等

技能振興
評価

◆生産性向上のためのスキル習得や熟練技能者による実技指導など、企業の成長を担う人づくりを支援
 ○スマートものづくり人材育成事業(階層別研修)
 ◆外国人技能実習生等の育成に取り組む県内企業を支援
 ◎外国人技能実習生等活躍事業:実習生向け技能講習、監理団体等が実施する日本語研修への支援
 ◆認定職業訓練を実施する団体等への助成:建築、板金、左官等



◆技能五輪や若年者ものづくり競技大会等の全国技能競技大会への参加を支援
 ◆技能検定の実施
 (特級・1～3級・基礎級等)

☆ 高校生(3級)の受検状況(合格者数) H20:78人(45人) → H29:285人(221人) 合格者約5倍
 " の合格率(検定全体) H20:57.7%(53.8%) → H29:77.5%(50.1%) 約20%アップ

